

## 「第九回全日本格闘打撃選手権大会」で自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部は、久喜市総合体育館にて開催された「第九回全日本格闘打撃選手権大会」において募集広報を実施した。

本大会は、初代K-1 G.P.P王者のブランコ・シカテックさんが会長を務めたことでも有名な全日本格闘打撃空手道連盟の主催で開催された格闘技大会で、ちびっ子の部から一般の部まで総勢三百名を超える選手が日頃の練習の成果を発揮した。

大会会場に設けられた埼玉地本のブースには「ここには己を活かす道がある！陸・海・空自衛官募集中！」という格闘家達の心をくすぐるスローガンのもと、自衛隊格闘術の訓練風景や各種武道・格闘技の全自衛隊選手権大会の写真パネルを設置。大会関係者（師範・指導者含む）や選手も含む多くの入場者の目を引いた。

また休憩時には埼玉地本が誇る、キャラクター「サイポんりく」が迷彩空手を着て、ヌンチャクを振り回しながら登場。十枚の瓦割りやバット折り及びサイボン流格闘術を悪役に扮した広報官相手に披露するなど会場を大いに盛り上げた。

ブースを訪れた多くの年少少女格闘家達は「自衛隊格闘術が面白い！将来絶対自衛官になる！」と真剣な眼差しで夢を語ってくれた。

また全日本格闘打撃空手道連盟の白鳥会長は「普段目にするのではない自衛官という存在を身近に感じることができた。生徒・弟子達にも己の特技を多くに磨き活かす「仕事」があることを認識させることができ非常に有意義な大会になりました。感謝します」というお言葉を頂いた。

埼玉地本は、今後も様々なイベント・大会に積極的に参加し、そのイベント・大会の特性に合った広報を実施して、入隊適齢者の獲得、募集基盤の強化を図っていききたいと考えている。



## 「日本拳法春日部前期錬成大会」で自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部は、「日本拳法春日部前期錬成大会」において募集広報を実施した。

本大会は春日部市自衛官募集相談員である森若修治氏が会長を務める日本拳法春日部市連盟が主催し、幼児から壮年まで約六十名の選手が日頃の錬成の成果を発揮した。

埼玉地本のブースには全自衛隊拳法選手権の写真をメインに各種の武道大会やその訓練風景写真を展示した。ブースを訪れた参加拳士や見学者は、皆一様に「自衛隊は射撃や体力練成などの厳しい訓練をしているイメージがありますが、展示されている写真のように武道という特技を仕事に活かせることを知って、将来職業の選択肢のひとつになりました」という言葉が多く寄せられ、自衛官という仕事には特技等を活用して活躍できる色々な分野があることを最大限にPRできた。また、森若修治氏には募集相談員として開会式及び閉会式で自衛官募集を案内していただく等、広報活動を積極的に実施して頂いた。

埼玉地本は、今後も様々なイベントや大会に積極的に参加し、そのイベントや大会の特性に合った広報を実施して入隊適齢者の獲得、募集基盤の強化を図っていききたいと考えている。



## 熊谷基地納涼祭で自衛隊をPR

埼玉地方協力本部は、八月二十六日（水）、航空自衛隊熊谷基地で行われた「熊谷基地納涼祭」で広報活動を実施した。

小雨の降る中、約二千人の来場者で基地内は賑わいを見せ、地元妻沼婦人会による盆踊りや埼玉地本の「サイポん」をはじめ深谷市の「ふっかちゃん」熊谷市の「ニャオざね」防衛省の「ピクルス」「パセリ」のキャラクター共演が納涼祭を盛り上げた。

埼玉地方協力本部のブースでは「サイポん」と熊谷地域事務所が製作したオリジナルヒーロー「募集戦士クマックス」が子供たちの人気を集め、カメラを向ける人が後を絶たなかった。また、自衛隊の活動や採用制度について説明する広報官の話に熱心に耳を傾ける方々も多く見られ、効果的な募集業務が実施出来た。今後も地域に密着した広報に力を入れ、子供達に将来自衛官になりたいと思ってもらえるよう心を尽くしていきたい。